

「技を伝え、夢をつなぐ」を読んで

私は異業種ですが同様の課題を強く感じ、特に新人確保が深刻で採用自体が難しいうえに、転勤や家庭の事情もあり数年で退職する人が多く悩んでいます。そこで、技を継承する必要がある貴業界の取り組みに興味を持ち、過去の慣例や制度にとらわれず新制度を導入して社員の定着に努める姿勢は大いに参考になりました。さらに、外部からは男社会に見える業界で働く女性たちの本音が制度の説明や実例を通じて伝わってきて非常に興味深く、今後も同様の企画が掲載されることを期待しています。

千葉県 60代男性 会社員

各建設会社の中堅として子育て真っ最中の女性社員の方々の働き方に対する考えが紹介され、大変よい企画だと思いました。皆様、子育てとキャリアアップの両立など、苦勞されつつも前向きに取り組まれていることに、大変好感を持ちました。女性委員の皆様の活躍が、現在建設業で働いている女性や、建設業への就職に悩む女性の一助となり、「技をつたえ、夢をつなぐ」に繋がることに期待しております。

岩手県 60代男性 会社員

育児休業について、取得する側だけでなく、業務を引き継ぐ側や、様々な理由で制度を利用しない立場の人もモチベーションを保つために何らかのベネフィットが必要との意見に一考の価値ありと思いました。また、上司の立場として、日頃のコミュニケーションの中でグループの人員が減る可能性を示唆するなど、いざという時の体制づくりをイメージしておくことの大切さを学びました。今後とも、現場でできることから実践していきたいと思いました。

富山県 50代男性 地方公務員

「マンション法から見た土地改良事業」を読んで

マンション管理には少々関心を持っており、今回の「土地改良・切り語り」は一見土地改良とは無関係なマンション法が題材ということもあり、興味深く拝読しました。老朽マンションの管理は大きな社会問題化しつつあるため法改

正が進められましたが、土地改良も同様に2つの老いに直面しているとのこと。食糧生産を担う重要なインフラである農地についても対策に向けた機運が高まることに期待します。

東京都 60代女性 地方公務員

共用施設の管理や費用負担、合意形成の仕組みに共通点が多く、マンション管理組合の管理費が土地改良区の賦課金であり、使途や金額、補修計画の議決など、マンション管理組合と土地改良区が重なる。なお、土地改良は事業前に関係者が合意形成し主体的に計画するのに対し、マンションは完成後に管理が始まる点に大きな違いがあるものの、合意形成の難しさや組織運営の重要性は双方に共通していることにこの記事から気づきました。

徳島県 60代男性 団体職員

「未来を創造し社会課題の解決を目指す」を読んで

戸田建設が茨城県常総市において、農業の6次産業化と、新たな賑わいを生み出す都市機能を融合させ、持続可能な地域コミュニティの創出を目指していることに心から敬意を表します。(インターチェンジ隣接地でのイチゴ施設栽培、区画整理後に開業した蔦屋書店とのコラボ状況や道の駅の賑わいなどを、ネットで読みました。) 会誌に掲載されてきた地産地消貢献活動がこのレベルにまで進化していることに深い感慨を覚えます。また、これからの土地改良事業を、「まちづくりと連携することにより未来への投資として重要になると確信」と力強く表明されていることに感銘を受けました。

埼玉県 70代男性 無職

近年の排水施設更新整備の課題

近年、農業用排水施設の更新整備においては、排水受益地などの土地利用の変化、降雨強度の変化、下流河川の排水能力、更には、流域治水への取組の浸透により、農業側で受け持つべき範囲などの検討事項が多く計画樹立に苦慮している。最上川下流左岸地区では、流域変更や排水機場の増設等も行っており、河川協議や地元調整も苦勞したものと推察する。工事の苦勞のみならず、計画段階における苦勞も、ぜひお聞かせ願いたい。

静岡県 50代男性 地方公務員

協会会員企業の関係記事

	ページ
RN建設	34
アイサワ工業(株)	34
青木あすなろ建設(株)	34
あおみ建設(株)	34
(株)浅沼組	34
(株)新井組	34
(株)安藤・間	34
岩田地崎建設(株)	34
(株)大林組	34, 47
(株)大本組	34
(株)奥村組	6, 9, 34, 44, 48
鹿島建設(株)	34, 45, 47
(株)新井組	34
(株)クボタ	34
(株)熊谷組	34
(株)鴻池組	34
五洋建設(株)	34
佐藤工業(株)	34
清水建設(株)	18, 34, 45, 49, 50, 51
大成建設(株)	34
大日本土木(株)	34
大豊建設(株)	34, 45
(株)竹中土木	6, 7, 34, 45, 48, 49, 51
TSUCHIYA(株)	34
鉄建建設(株)	34, 45, 81
東急建設(株)	34, 75
東洋建設(株)	34, 44
戸田建設(株)	14, 34
飛鳥建設(株)	34
西松建設(株)	24, 34
日東河川工業(株)	34
日特建設(株)	34
日本基礎技術(株)	34
日本国土開発(株)	34
ピーエス・コンストラクション(株)	34
(株)フジタ	34
(株)北陽	34
(株)本間組	29, 34
前田建設工業(株)	6, 9, 34
松尾建設(株)	34
三井住友建設(株)	6, 9, 34
みらい建設工業(株)	34
ライト工業(株)	34, 78
若築建設(株)	34

土地改良

第334号

令和8年7月15日 発行

編集者／発行所

一般社団法人 土地改良建設協会

〒105-0004 東京都港区新橋5丁目34-4

農業土木会館

TEL 03-3434-5961

FAX 03-3434-1006

http://www.dokaikyo.or.jp/



インタビュー及び取材記事等は編集を加えており、文責は当協会にあります。また、農林水産省職員の投稿文の内容や意見は、執筆者個人に属し、同省の公式見解を示すものではありません。

デザイン・印刷 株式会社ひとみ

本誌からの許可無き転載・複製を禁じます。

本誌「土地改良」へのご意見、ご感想をお待ちしております。／

官製はがき又はメールにて、本号の記事の中で面白かったもの、興味深かったものを5点以内で順に表題名をお書きいただくとともに、ご意見、ご感想を200字程度でおまとめ下さい。また、住所、氏名、性別、年齢、職業、勤務先、電話番号をお書き下さい(掲載の際には、都道府県名、性別、年齢、職業までを表記させていただきます。また、文意を変えない範囲で、当方の判断で文章の量を調整させていただきます)。ご感想等を掲載させていただいた方には、毎回もれなく全国各地の名品を贈らせていただきます。次回掲載分については、「新潟県産コシヒカリ5kg」をご用意しております。[8月末日締切]

宛て先

〒105-0004 港区新橋5-34-4 土地改良建設協会「くろすおーばー」係
メールアドレス jigyo@dokaikyo.or.jp

Present
新潟県産コシヒカリ
5kg

